令和７年度事業報告書
令和７年８月 21 日から令和８年３月 31 日まで

特定非営利活動法人北陸フードバンク推進協議会

１ 事業実施の結果

食品関連事業者等から未利用食品等の提供を受けて貧困、災害等により食べ物の支援が必要な者に提供するフードバンク活動の社会的意義に鑑み、北陸四県（福井・石川・富山・新潟）の大規模フードバンクとしてその活動の推進を図ると同時に、食品の最終受給者が適切な支援を受けられるよう、必要な措置を実施した。

またこども食堂等へのこども家庭庁ひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の中間支援法人（資金分配団体コンソーシアム）として事務局を担った。

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
(1)食品寄付の促進と広報啓発に関する活動	食品寄贈企業の開拓やフードドライブの促進を図るため、食品ロスや貧困問題についての啓発活動を行い、食品寄付の意義や重要性を広めた。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(2) 寄付食品のマッチングと分配に関する活動	寄贈食品や政府備蓄米、絵本･児童書や玩具等支援物資を北陸四県の連携団体へ分配した。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(3) 受入能力向上と物流の効率化に関する活動	実施なし				
(4) ネットワーキングと連携促進に関する活動	北陸四県の中核フードバンクや地域フードバンク並びに行政や企業等を含めた情報交換会を 2 回実施した。	通年	石川県金沢市・富山県砺波市	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(5) 資金調達支援と資金提供に関する活動	北陸四県のフードバンクやこども食堂等を対象に、助成金情報の提供を実施した。また、こども家庭庁のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の資金分配団体として事務局を担った。	通年	北陸三県（福井・石川・富山）	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体

(6) 研修と情報交換機会の提供に関する活動	食品衛生、寄付者対応、法令遵守などに関する研修を行うとともに、活動の工夫や課題などの情報交換機会を提供した。	通年	石川県金沢市・富山県砺波市	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 50 団体
(7) 災害時の支援体制構築に関する活動	災害時に複数のフードバンクが連携して迅速に対応できるよう、緊急時の支援体制整備に取り組んだ。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	10 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(8) データ収集や分析研究に関する活動	北陸四県の県庁を通じて、児童扶養手当受給者の人数を調査し、子どもの未来応援プロジェクトの LINE 公式アカウント登録チラシを配布した。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	10 人	北陸四県のひとり親家庭等約 33,000 世帯
(9) ガバナンスと基準設定に関する活動	JPF 休眠預金事業を通して、定款や規約の改訂に取り組んだ。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	5 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(10) 政策形成過程への参加と政策提言活動	議員や行政担当者、政策決定者との意見交換会や勉強会を開催し、実務者としてフードバンクの役割や課題を直接伝える機会を作った。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	5 人	連携する中核・地域フードバンク等 30 団体
(11) その他この会の目的を達成するための活動	政府備蓄米の交付やこども家庭庁のひとり親家庭等のこどもの食事等支援事業の助成を受け、フードパントリーを通してひとり親家庭等生活困窮世帯のこどもへの食支援を実施した。	通年	北陸三県（福井・石川・富山）	10 人	ひとり親家庭や被災者等約 300 世帯
	あしながサンタ X'mas プロジェクト 2025 として、北陸四県のひとり親家庭等生活困窮世帯や被災子育て家庭約 3,000 世帯へクリスマスケーキや絵本・児童書、玩具を贈った。	通年	北陸四県（福井・石川・富山・新潟）	10 人	北陸四県のひとり親家庭等生活困窮世帯や被災子育て家庭約 3,000 世帯